

1 学校教育目標

『 かしこく やさしく しなやかな 江北の子 』（知徳体の涵養）

人権尊重の精神を基調として、様々な価値・状況の中において「共に生きる」ことを念頭に置き、一人一人の児童に意欲と自信をもたせる教育を推進する。更に社会貢献できる心身ともに健康で知・徳・体のバランスの取れた教育を提供していくことで自ら考え正しく判断し、社会の変化に主体的かつ柔軟に対応して生きる児童の育成を目指す。

その実現のために、令和4年度に統合したことを見据えて、以下のように教育目標を設定する。

- かしこく （創造的に生きる**学力**） … 自ら考え、正しく判断し、新しさを自由に求める創造性豊かな子
- やさしく （心豊かに生きる**活力**） … 友達のよさを認め温かい心で接し、互いに励まし合う子
- しなやか （柔軟に強く生きる**体力**） … 心身ともに健康で正義感と責任をもち自分の力で柔軟に対応できる子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ○児童に基礎学力および基礎体力をつけて、その有用性を理解させていける学校 ○児童一人一人が自分自身の思いや願いをしっかりと伝える力をつける学校 ○児童一人一人が活躍する場を創り、粘り強くやり通す力を育成する学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○課題をしっかりと受け止め、解決に向かい自ら考え、学び合える児童 ○相手意識及び規範意識や社会性を身につけた、思いやりのある児童 ○何事も最後まで頑張る気持ちと体力を身につけやり通す、たくましい児童
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○指導力の向上をめざし力量を高めるために、主体的・意欲的に研修に励む教師 ○しっかりと人権感覚をもち、保護者・地域と協力しながら共有ができる教師 ○児童の実態を分析し児童理解の上に立って、計画的・意図的な実践ができる教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

＜学校の現状＞

○高野小学校との統合を経て1年が経過した。2校の児童は比較的早くから上手く融合し、今ではどちらの学校の児童だったかわからないくらいに解け込んでいる。先生たちも当初から和気あいあいと過ごせている。コロナ禍3年目の今年度は、漸く今までの日常生活を取り戻しつつあり、できることから取り組み、江北スタンダードの確立に努めた。

＜成果＞

読書活動や漢字コンテスト・算数コンテストなどの基礎基本の学力向上に力を入れたことから、教員も児童も積極的に取り組み、読書では、1万ページ達成者が続出し、漢字・算数コンテストでは、毎回満点賞を取る児童が約25%以上（4人に1人）も出るようになった。

＜課題＞

コロナ禍で色々と制限される中、計画していた持久走（3分間走）や長縄の取組が思うように実施できず、体力テストでも目標値を大きく下回った。

4 重点的な 取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン（学力）	○	○	○	○	○
2	基礎体力の向上（体力）	○	○	○		
3	豊かな心の育成（活力）	○	○	○		
4						

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
自主学習の定着を図り、自ら進んで学ぶ児童の育成		国語85% 算数85% 全体85%				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・ 継	アクション プラン	対象学 年 実施教科 科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内 容 (誰が、何を、どのよう に)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●

自己評価の際に記入

1 継続	○読書活動の充実 音読・朝読書・読み聞かせ	全学年 国語	○年間 毎週火曜から金曜の始業前15分間（音読5分・読書10分）	○読書旬間（6月、10月、2月） ○夏休み読書、冬休み読書 ○読書カードに記録し、おすすめの本を紹介する。 【音読・朝読書】 ・担任が国語力・語彙力の向上を目的に、音読カード（音読）や学校図書館の書籍や各自で用意した本（読みもの）を使用して実施する。 【読み聞かせ】 ・開かれた学校作り協議会の委員、図書ボランティアの方、保護者、卒業生、教職員による読み聞かせを定期的実施。	・読んだページ数、冊数を読書カードに記録する。 ・暗唱テストを全校朝会にて学年（合同は2学級まで）ないしクラス単位で発表する。	○年間10,000ページを目指す。達成者には校長賞を授与する。 ○教材（音読カード）の暗唱率100%を目指す。			
---------	--------------------------	-----------	-------------------------------------	---	--	--	--	--	--

2 継続	○基礎基本の学力の定着	全学年 国語 算数	○毎月1回、年間10回の実施	<p>①漢字コンテスト(25問テスト)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長作成の漢字テストで、各回担任に漢字ドリル等の範囲を決めて児童に練習させる。 <p>②算数コンテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数少人数教員が計算ドリル等を参考に作成する。 	<p>①漢字コンテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最低でも約一週間の練習期間を設ける。 <p>②算数コンテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	○100点を取った児童には満点賞の賞状を授与する。全校朝会にてクラス代表の児童に賞状を授与する。			
3 継続・改善	○自主学習の励行 セルフ・スタディング	全学年	○基本は毎日だが、学年の実態に合わせて実施	<ul style="list-style-type: none"> ・担任が問題解決学習の一環として、児童自ら課題を見つけ、その課題解決に向けて、自主的に調べたり聞いたりして解決の方向に向かえるよう指導する。 ・宿題以外の取組なので、児童によっては負担感を感じることもある。無理のないよう学年で工夫して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年で同じノート(30ページ位)を使用し、何冊取り組めたかで確認する。 ・基本は毎日1ページの取組にするが、無理はしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間10冊を目標に取り組む。 ・目標達成児童には、全校朝会にて校長賞を授与する。 			

4 継続・改善	○教師の授業力向上	全教員	<p>①若手教員研修 ・月1回を基本とするが、場合によっては随時招集する。</p> <p>②小中連携授業 ・6分科会にて指導案検討等に積極的に関わる。</p> <p>③校内研究 ・国語科の研究 ・各学年、専科、支援教室、支援学級の9回実施し協議会を設ける。 ・基本教員全員が公開授業の実施。</p> <p>④ICT機器の活用 ・積極的に授業に取り入れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による指導、助言。 ・指導案の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・定着確認テストを2月に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級間の通過率の差10ポイント未満。 			
5 継続	○MIMの充実	1年 国語	毎月実施	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等で取り組み状況を周知し、現況を共有する。他学年へも特に学習の遅れがちな児童を中心に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月アセスメント 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月には3rd対象児童をゼロにする。 			

6 継続	○ICT の積極的な活用	全学年 全教科	通常授業や校内研究授業での積極的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者は担任、専科教員、管理職とする。 ・目的は、授業の中でタブレット等 ICT 機器を使用した授業を週案簿に明記するなど積極的に計画、推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週案簿の確認 ・研究授業で指導案作成時に確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのクラス、専科授業でタブレット等 ICT 機器使用の授業を毎日実施できるようにする。 			
7 継続	○放課後補充教室（江北塾）	全学年 国語 算数	火曜・木曜・金曜の週 3 日間	<p>【指導者体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任、専科、学習支援員、管理職 <p>【取り組みのねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つまずきに合わせ個別、または少人数で指導。 ・特に読解に力を入れる。 <p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークペーシックドリル等 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月に4月実施の区調査再テストの実施 ・1月に現学年学習内容の業者テストの実施 ・2月に4月実施の区調査の1つ学年上のテストの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○7月のテストでは、通過率を9割以上にする。 ○2月のテストでは、通過率85%以上を目指す。 			

重点的な取組事項－2		基礎体力の向上		
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体力調査の数値向上	<ul style="list-style-type: none"> ○全項目の60%以上が区の平均を上回る数値を出す。 ○体力・運動能力調査で各学年B評価以上を4割、D評価児童をゼロに近づける。 	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み				

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
○自分の基礎体力・運動能力を知る 投げる力の向上 持久力の向上 跳躍力の向上	○体力調査の結果を平均値5%上げる 全校児童の4割がB評価以上にし、D評価児童をゼロにする。 ○長短縄跳び・持久走に取り組む児童80% ①「反復横跳び」と ②「立ち幅跳び」で80%以上が区平均以上	○全国体力・運動能力調査を年間2回、6月と2月に実施し、成果を検証する。 ○投力向上の場を日常的に設定する。 ○長短縄跳びタイムの期間延長 ○持久走に取り組む期間の延長 ○授業での取扱 ○短縄週間の期間延長	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 自己評価の際に記入 </div>		
○基礎体力・運動能力の向上を図る	○一日60分の運動量を目指す ○一週間で420分の運動量を目指す	○取組カード「こうほくエクササイズ」の作成実行 ○3分間走の実施 ・中休み時間の後半3分間を走る。 ・時期のよって種目を変える。 12月から2月の期間は、3分間縄跳びに変更する。 ○長縄チャレンジへの取組 ・12月と2月の2回全校で実施する。(体育集会)			
○毎日の生活の中で、健康・安全に過ごす力を養う。	○「夕ご飯・早寝・早起き・朝ご飯」を推進し、生活習慣の確立を図る。 ○コーディネーション運動の推進を図る。 ○オリンピック・パラリンピックに関する学習を推進する。	○生活がんばり表を年3回(5月・9月・1月)実施し生活習慣の確立に活用する。 ○コーディネーション運動を各学年体育の年間計画に取り入れ実践する。 ○アスリートやスポーツ専門委員の学校派遣を推進し、運動能力の向上を図る。			

--	--	--	--	--	--

重点的な取組事項－3	豊かな心の育成
-------------------	---------

A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
○小中連携の一環として、9年間を通して生活習慣の定着を図る ○地域と共にあいさつ運動の推進を図る。	○生活指導を見直し、江北地区のスタンダードを作成する。 ○全員が「場に応じたあいさつ」ができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>		

B 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
○場に応じた気持ちの良いあいさつの実施	○誰にでも何処でも気持ちの良いあいさつを100%できる。	○あいさつ運動の全員実施。 ○江北地区全体（学区域）での取組とする。学区域の幼保小中高で連携し、日常的なあいさつ指導を推進する。定期的にあいさつ週間を設け、その期間は連携校で一斉に実施する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 20px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>		
○「時間・礼儀・責任」を重んじ、当たり前前の方が当たり前前にできる児童の育成	○学校の生活規律を守り、けじめのある行動ができる児童を育成する。6月までに8割達成する。	○生活規律の徹底を図り、毎月定期的に生活指導部を中心に点検する。 ○江北地区生活指導における「江北スタンダード」を作成する。			

○問題解決学習を励行し、自主的に発表、表現活動の充実	○発表、表現活動の充実 8割の達成を前期までに目指す。	○体験学習、校外学習のまとめとして発表・表現を伴う授業を充実させる。 ○学校図書館を利用した調べ学習を充実させる。 ○全校での取組とする。			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）